

「親子で考えよう ～働くってどういうこと?～」

●と き:平成28年11月26日(土)

●ところ:大崎市立敷玉小学校

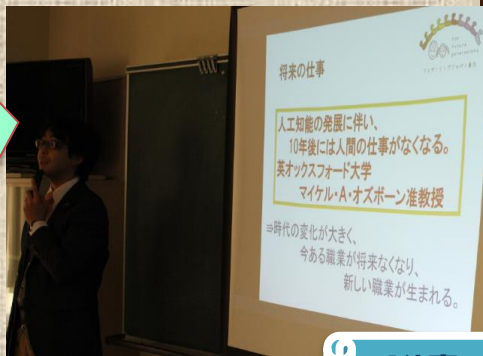
今年度最後の父親の家庭教育参画支援事業は「親子で考えよう～働くってどういうこと?～」と題して、ファザーリング・ジャパン東北の工藤賢司先生と竹下小百合先生に講演とワークショップをしていただきました。「ワークライフバランスを考えながら働くこと」の大切さを考えました。

学校のPTAとの共催や親子での学習は初めての取組でしたが、「働きかた」を考えることで、仕事だけでなく、自分の家族や大切にしていること、趣味など「自分がどう生きるか」「どんな人生をおくるか」など「生き方」にもつながっていきます。大人はもちろん、子どもにも大変勉強になる時間でした。



自己紹介

自己紹介カードで自分のことを書いて、紹介しました。自分のことを知ってもらい、互いに拍手をしているうちに雰囲気も和やかに(*^_^*)



将来の仕事
人工知能の発展に伴い、
10年後には人間の仕事はなくなる。
英オックスフォード大学
マイケル・A・オズボン准教授
時代の変化が大きく、
今ある職業が将来なくなり、
新しい職業が生まれる。



「仕事についてインタビューしてみよう」、
子ども達が親以外の大人に仕事についてのインタビューをしました。
こんなステキなメッセージももらいました。

工藤さんのお話から
「十年後、今の仕事の30%はなくなるという
れています。だからこそ、働き方について考え
ていくことがこれからは大事になります」



楽しいこともあるし嬉しいこともある
でも辛いこともたくさんある。でも家族
のために働く。それが仕事。

